

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あい・すまいる		
○保護者評価実施期間	令和 6年 4月 1日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 6年 4月 1日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・屋内に、活動スペース、学習部屋、ブラックライトルームがあり、屋外には人工芝のスペース、大型トランポリンや平均台があるなど豊富な活動スペースがある。	・屋外スペースでは夏は大型プールを設置して毎回利用者が思い切り水遊びができる。 ・ブラックライトルームでは真っ暗な部屋が作れ、違った雰囲気を感じることができる部屋となっている。	・多種多様な活動スペースとその特徴を活かして、今後も活動内容を膨らませていき、利用者へ様々な体験を提供していきたい。
2	・利用者の「やりたい」に応えられる支援。	・ダンボール工作がしたい、パソコンで絵をプリントアウトしたい、ザリガニを捕まえに行きたいなど利用者一人ひとりの声を大事にして可能な限り実現ができるように支援を心掛けている。そのやりたいという気持ちを引き出すことによって自己肯定感や行動意欲の向上につながっていると感じる。	・今後も利用者一人ひとりの思いを汲み取る意思決定支援を行っていき、またそれと同時に、順番を守ることやルールを守ること、公共のものを大事に扱うなどの社会性を身につける支援も合わせて行っていきたい。
3	・保護者の悩みに迅速に対応する。	・保護者からの意見や悩み事に関してすぐに対応できるように関係機関と連絡を取り合い、情報収集を行って対応している。 ・帰りの送迎時には学校からの申し送りからデイでの出来事などお伝えしている。また体調の変化など細かな気づきもお伝えしている。	・今後も利用者の体調面や情緒面の変化を注視しながら支援を行っていき、その様子を丁寧に保護者へ伝えていきたい。また保護者の悩み事も伝えやすいような関係づくりに努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がありません。	・放課後児童クラブとの接点がない。 ・学童と関わることは難しいし、必要性が感じられない。	・地域のイベントや公園へ出向き、そこで地域の人と関わる機会を作れているように感じているので今後もそのような機会を設けられるように努めていきたい。
2	・職員によって情報共有ができていないことがある。	・共有する書類の見落としや共有する情報の回覧資料が作成されなかったり、伝達できていない。	・日頃のミーティングなど伝達の機会をしっかりととる。また伝え漏れがないように回覧用の資料を作成するなど確実に情報共有ができるようにしていく。
3			